



きずな

野木町国際交流協会 (NITA)

発行: 野木町国際交流協会 情報交流部
所在地: 栃木県下都賀郡野木町丸林571 野木町公民館内
TEL 0280-57-4188 <http://www.nogitown.com>
itoh_masa@yahoo.co.jp 2013年4月1日発行

野木町民参加のもとに、諸外国の方々との相互理解と友好を深めるための活動を行いました。

- 第36回野木町文化祭
- 世界の料理シリーズ 「第3回手打ちそば教室」
- 年末交流パーティー
- 世界の文化シリーズ 「いけばな講座」
- 世界の言葉シリーズ 「英会話教室」
- 第6回公民館まつり
- 会員・日本語ボランティア募集中
- 世界の料理シリーズ 「第4回手打ちそば教室」
- 総会のご案内
- これからのイベント情報
- 編集後記

平成24年10月27日～28日

野木町公民館で、第36回野木町文化祭が開催されました。町交流協会では諸外国の方々と野木町民とのふれあいの場として、展示発表と模擬店で参加しました。



平成24年11月10日

野木町公民館調理室で世界の料理シリーズ「第3回手打ちそば教室」を開催しました。「蕎麦」は我が国の長い歴史と地域文化の中で生まれ、日本人の日常生活の中で脈々と受け継がれています。

この蕎麦をご自分で打って、打ちたての蕎麦を茹でて試食をしました。



イベント

平成24年12月23日 年末交流パーティー



野木町公民館にて恒例の年末交流パーティーを開催しました。131名の出席があり、真瀬町長臨席のもと盛大に行なわれ、野木町民と外国の方々との楽しい交流をしました。

平成24年12月23日

野木町公民館にて、日本の文化「いけばな講座」を開催しました。いけばなは日本発祥の芸術であり、現代では国際的に拡がってきています。草月流師範真瀬先生(町交流協会会員)の指導で外国の方と一緒にいけばなを楽しみました。



平成25年1月27日、2月3日、10日

野木町公民館にて、英会話教室(基礎)を開催いたしました。講師は元ALTのオリン・サザー先生(カリフォルニアサン・ペルラルディーノ大学)です。

外国の方と気軽に語り合い、互いの文化を知るためには言葉が大事です。

国際理解を深めていくための、第1歩であり楽しく学べた貴重な英会話教室でしたとの、参加者の声がありました。

今後も英会話を楽しく、基礎から学べる「英会話教室」「英会話サロン」を、町交流協会では開催して行きます。



平成25年2月17日

第6回公民館まつりが開催されました。町交流協会では、諸外国の方々との友好と相互理解を深めるため、「模擬店」「いけばな」「写真」の展示を行いました。模擬店では手づくりの「えびせん」を販売し、ご好評により完売をしました。



イベント・お知らせ

■会員・日本語ボランティア募集中！

-皆様のご参加をお待ちしています。-

諸外国の方々との友好と相互理解を深めるため、さまざまな活動を行っています。外国の方と友達になりたい方、海外の文化や習慣などに触れてみたい方、ボランティア活動に参加してみたい方、わたくしたちと一緒に活動してみませんか。会員を募集しています。

ボランティアとして外国の方に日本語を教えてみたいという方を募集しています。

お問合せ先 野木町国際交流協会事務局長 堀越 090-3815-2412まで

平成25年3月2日

世界の料理シリーズ「第4回手打ちそば教室」を開催しました。

蕎麦(そば)は、穀物のソバの実を原料として加工した、日本の麺類の一種で、それを用いた料理です。蕎麦切り(そばきり)、日本蕎麦(にほんそば)とも呼ばれています。歴史は古く、うどんや寿司、天麩羅と並ぶ代表的な日本料理です。

自分で打った蕎麦の味はいかがでしたか。お蕎麦屋さんで食べるお蕎麦よりは格別に美味しかったでしょう。



総会のご案内

野木町国際交流協会の総会を、5月25日(土)野木町公民館にて開催を予定しています。24年度事業報告・収支決算および25年度事業計画・収支予算を報告します。ご出席をお願いします。

これからのイベント情報

■野木町公民館との協働講座
大人のための世界史講座(1)
世界遺産から見た東南アジアの魅力
—その歴史と文化—

第1回 アンコール・ワット

—クメール帝国の輝き—

(カンボジア)

第2回 スコータイとアユタヤ

—タイ王国の栄華—

(タイ)

第3回 ポロブドゥールとプラン

バナ

—海上帝国繁栄の証—

(インドネシア)

第4回 ホイアンとミーソン

—幻の王国チャンパの繁栄—

(ヴェトナム)

詳細スケジュールは、町広報でお知らせします。

編集後記

皆様のご協力により、第3号を発刊することができました。

心よりお礼を申し上げます。

次回は秋号の発刊を予定しております。

Twitter、Facebook、ホームページで旬の情報をお伝えできるよう努めてまいります。

よろしくお願いいたします。

(発行責任者伊東)